


	号外	定価 1部2円	ヤマ場は 10.1 人事委員長交渉。 大衆行動を背景 に交渉を行います。 最大限の結集 を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	

## 13 県人勸情報 - ⑤

切実な思いを大型ハガキに託し、佐藤事務局長と交渉

現給保障 継続の声 **特に強い要望として委員に伝える**

 勧告日は **10月7日の週**

県地方公務員共闘会議（議長：豊巻浩也・岩教組委員長）は、24日、人事委員会佐藤事務局長と交渉を行った。交渉では、人事委員会において廃止の方向で検討が進められている「現給保障」について、逼迫した生活実態や廃止による影響を必死に訴えながら継続を求めた。これに対し佐藤事務局長は「特に強い要望として委員に伝える」と回答した。

また、交渉前段には、地公共闘各単組組合員から寄せられた切実な要求の詰まった大型ハガキ署名（7,556筆）を佐藤事務局長（写真左）に手交し、職員の生活・職場実態を踏まえた上での検討を強く求めた。



## 月例給は依然として厳しい状況 勧告日は10月7日の週内

《地公共闘》 勧告日はいつごろになるか？ 公民較差の精査状況は？  
 【佐藤局長】 10月7日の週内の勧告をめざして作業中。公民較差については、月例給を見ると、民間も県職員も昨年を下回っており厳しいところがみられる。月例給の乖離が生ずる見込み。特別給(一時金)については、昨年度の3.90月から好転していない。

## 現給保障廃止の影響は深刻 ⇒ 特に強い要望として委員に伝える

《地公共闘》 2006年の地域給導入時の激変緩和措置である「現給保障」の継続を求める。  
 【佐藤局長】 経過措置(現給保障)の廃止が適当であるとの考えは変わらない。今年度の適用者は行(一)対象者で15%程度(昨年度20.1%)であり、平均額は9千円台、最高額は3万円を割り込む見込み。他県等でも経過措置の終了へ進んでおり、動向踏まえ検討している。

《地公共闘》現給保障廃止による影響は深刻だ。現場の声を委員に伝え、継続を検討願う。

- ・ 現給保障適用者の多くは技術と経験を持ったベテラン世代。復興に向けて先輩方に頼らざるを得ない状況が続く中、間接的であれ現給保障の廃止を早期退職への要因にしてはいけない。安心して働き続けられるよう、現給保障は当分の間継続すべき。(県職労)
- ・ 生涯1等級で退職する教員もあり、50歳位で最高号給の実態も。復興教育・いじめ防止対策など多忙化が収まらない中、モチベーションを削ぐべきでない。(高教組)
- ・ 奨学金を使わないと大学に進学させられない。子どもに約4百万円の借金を背負わせることになる。給与カットに加えての削減は大変厳しい。(岩教組)

【佐藤局長】皆さんの切実な声であり訴えだと受け止める。皆さんからの、特にも強い要望であることを、しっかりと委員の皆さんに伝えたい。

## **諸手当・休暇改善は、今すぐ改定が必要との判断に至らない!?**

《地公共闘》ガソリン代の高騰で自己負担が増えている。諸手当・休暇等の改善検討の状況は？

【佐藤局長】ガソリン価格は高値傾向だが、2008年の報告で引き上げ改定に触れた際の水準にはまだ至っていない。交通機関も運賃改定されておらず特段の変化は認められない。夏季休暇5日という県の数は多いが、本県の4日は極端に短いという認識はない。年休取得状況も10日をやや上回る程度であり、改定の必要性を認めるには至らないと考えているが、引き続き分析を進めていきたい。

## **10.1の人事委員長交渉は、大衆行動を背景に実施**

事務局長の厳しい回答を受け、地公共闘は、各単組・支部・分会等に対し緊急要請打電行動を要請すると共に、「10・1地公共闘総決起集会」及び委員長交渉時の県庁座り込み行動を行う。最大限の結集で、削減勧告を押し返そう！

## **一関市議会議員選挙 9月29日投開票**

# **千葉信吉 (ちばのぶよし) さんを推薦決定**

県職労は、今月14日に開催した中央執行委員会において、現在行われている一関市議会議員選挙において、「千葉信吉」さん(現一関地方労事務局長・国労出身)の推薦を決定し、その後開催した拡大中央闘争委員会の中で、各支部における積極的な取り組みを確認した。

千葉さんは、子育て支援、教育環境の整備、雇用対策、若者の就労支援、医療・介護の充実などを掲げ、地方労運動で培った生活者の目線での市制をめざして、立候補しています。

一関市在住の知人・友人等へ、「千葉信吉」さんを浸透させる声掛けをお願いします。